

議 員 協 議 会

令和 7 年 3 月 26 日
委 員 会 室

1 開 会

2 理事者報告

令和 5 年 8 月 28 日に発生した水道水の濁りに起因する補償について

3 協議事項

(1) 第 107 回 3 月定例会の運営等について
議会運営委員会委員長報告

(2) その他

3 その他

令和7年3月26日

議員各位

議会運営委員長

令和7年3月19日議会運営委員会の概要について（報告）

去る3月19日に開催しました議会運営委員会の内容につきまして、下記のとおり概要をまとめましたので、御確認くださいようお願い申し上げます。

記

1 協議事項

第107回3月定例会の運営等について

(1) 討論及び一般質問について

ア 討論

別途配付「第107回3月定例会の運営（討論及び一般質問）について」のとおり

※ 通告者の討論が終了した後、通告のない議員も討論できる。

イ 一般質問

別途配付「第107回3月定例会の運営（討論及び一般質問）について」のとおり

一般質問は、12人から通告（26日（第3日）…5人、27日（第4日）…7人）

(2) 予算常任委員会付託案件の取扱い

①補正予算②一般会計（当初）③一般会計以外（当初）に日程を三分割し、①～③の三つの日程に係る21議案を一括して議題とする。（途中で日程追加が可能）

第107回3月定例会の運営（討論及び一般質問）について

1 討論について

- (1) 議案第10号 西脇市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
① 7番 高瀬 弘行 議員（反対） ② 2番 岸本 年裕 議員（賛成）
③ 12番 坂部 武美 議員（賛成）
- (2) 議案第25号 令和7年度西脇市一般会計予算
① 15番 林 晴信 議員（反対） ② 13番 浅田 康子 議員（賛成）
③ 3番 藤原 哲也 議員（賛成）
- (3) 議案第26号 令和7年度西脇市国民健康保険特別会計予算
① 7番 高瀬 弘行 議員（反対） ② 2番 岸本 年裕 議員（賛成）
③ 12番 坂部 武美 議員（賛成）

※ 上記の議案については、当該議員の討論後、続いて通告のない議員も討論することができます。

2 一般質問について

- (1) 通告人数 12人
- (2) 令和7年3月26日（第3日） 5人
① 9番 村岡 栄紀 議員 ② 11番 東野 敏弘 議員
③ 3番 藤原 哲也 議員 ④ 5番 森脇 久夫 議員
⑤ 16番 寺北 建樹 議員
- (3) 令和7年3月27日（第4日） 7人
① 14番 村井 正信 議員 ② 12番 坂部 武美 議員
③ 2番 岸本 年裕 議員 ④ 13番 浅田 康子 議員
⑤ 7番 高瀬 弘行 議員 ⑥ 1番 藤原 秀樹 議員
⑦ 4番 杉本 佳隆 議員

議事日程（第 107回西脇市議会定例会第 3 日）

令和 7 年 3 月 26 日

午前 10 時 開 会

日程	議案番号	件 名	提出者
第 1	—	会議録署名議員の指名について	—
	議案第 3 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係 条例の整理に関する条例の制定について	市 長
第 2	議案第 4 号	西脇市行政手続における特定の個人を識別する ための番号の利用等に関する法律に基づく個人 番号の利用に関する条例及び西脇市税条例の一 部を改正する条例の制定について	〃
	議案第 5 号	西脇市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及 び西脇市職員の育児休業等に関する条例の一部 を改正する条例の制定について	〃
	議案第 7 号	西脇市一般職の職員の給与に関する条例等の一 部を改正する条例の制定について	〃
	議案第 11 号	西脇市産業立地促進措置条例の一部を改正する 条例の制定について	〃
	議案第 12 号	西脇市生活排水処理施設条例及び西脇市下水道 事業の設置等に関する条例の一部を改正する条 例の制定について	〃
	議案第 37 号	損害賠償の額の決定について	〃
	議案第 6 号	西脇市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び 費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の 制定について	〃
第 3	議案第 8 号	西脇市家庭的保育事業等の設備及び運営に関す る基準を定める条例の一部を改正する条例の制 定について	〃
	議案第 9 号	西脇市在宅老人介護手当支給条例の一部を改正 する条例の制定について	〃
	議案第 10 号	西脇市国民健康保険税条例の一部を改正する条 例の制定について	〃

第 3	議案第13号	西脇市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市 長
	議案第14号	西脇市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	〃
	議案第15号	西脇市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第 4	議案第16号	令和6年度西脇市一般会計補正予算（第12号）	〃
	議案第17号	令和6年度西脇市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃
	議案第18号	令和6年度西脇市老人保健施設特別会計補正予算（第3号）	〃
	議案第19号	令和6年度西脇市介護保険特別会計補正予算（第5号）	〃
	議案第20号	令和6年度西脇市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	〃
	議案第21号	令和6年度西脇市太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）	〃
	議案第22号	令和6年度西脇市水道事業会計補正予算（第3号）	〃
第 5	議案第23号	令和6年度西脇市下水道事業会計補正予算（第2号）	〃
	議案第24号	令和6年度西脇市病院事業会計補正予算（第2号）	〃
	議案第25号	令和7年度西脇市一般会計予算	〃
第 6	議案第26号	令和7年度西脇市国民健康保険特別会計予算	〃
	議案第27号	令和7年度西脇市立学校給食センター特別会計予算	〃
	議案第28号	令和7年度西脇市老人保健施設特別会計予算	〃
	議案第29号	令和7年度西脇市公営墓地特別会計予算	〃
	議案第30号	令和7年度西脇市介護保険特別会計予算	〃
	議案第31号	令和7年度西脇市茜が丘宅地供給事業特別会計予算	〃

第 6	議案第32号	令和7年度西脇市後期高齢者医療特別会計予算	市 長
	議案第33号	令和7年度西脇市太陽光発電事業特別会計予算	〃
	議案第34号	令和7年度西脇市水道事業会計予算	〃
	議案第35号	令和7年度西脇市下水道事業会計予算	〃
	議案第36号	令和7年度西脇市病院事業会計予算	〃
第 7	—	西脇市議会議員の派遣について	—
	—	文教民生常任委員会所管事項の閉会中継続審査の申出について	文教民生 常任委員長
第 8	—	総務産業常任委員会所管事項の閉会中継続審査の申出について	総務産業 常任委員長
	—	議会運営委員会所管事項の閉会中継続審査の申出について	議会運営 委員長
第 9	—	一般質問	—

西脇市議会議長 高 瀬 洋

西脇市議会
議長 高 瀬 洋 様

文教民生常任委員長 浅 田 康 子

委員会審査報告書

令和 7 年 3 月 4 日付けで本委員会に付託されました案件について、慎重審査の結果、下記のとおり決定しましたので、会議規則第 102 条の規定により報告します。

記

区 分	件 名	結 果
議案第 6 号	西脇市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 8 号	西脇市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 9 号	西脇市在宅老人介護手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 10 号	西脇市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 13 号	西脇市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 14 号	西脇市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 15 号	西脇市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

西脇市議会
議長 高 瀬 洋 様

総務産業常任委員長 村 井 正 信

委員会審査報告書

令和 7 年 3 月 4 日付けで本委員会に付託されました案件について、慎重審査の結果、下記のとおり決定しましたので、会議規則第 102 条の規定により報告します。

記

区 分	件 名	結 果
議案第 3 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係 条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第 4 号	西脇市行政手続における特定の個人を識別する ための番号の利用等に関する法律に基づく個人 番号の利用に関する条例及び西脇市税条例の一 部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 5 号	西脇市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及 び西脇市職員の育児休業等に関する条例の一部 を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 7 号	西脇市一般職の職員の給与に関する条例等の一 部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 11 号	西脇市産業立地促進措置条例の一部を改正する 条例の制定について	原案可決
議案第 12 号	西脇市生活排水処理施設条例及び西脇市下水道 事業の設置等に関する条例の一部を改正する条 例の制定について	原案可決
議案第 37 号	損害賠償の額の決定について	原案可決

西脇市議会
議長 高 瀬 洋 様

予算常任委員長 寺 北 建 樹

委員会審査報告書

令和 7 年 3 月 4 日付けで本委員会に付託されました案件について、慎重審査の結果、下記のとおり決定しましたので、会議規則第 102 条の規定により報告します。

記

区 分	件 名	結 果
議案第 16 号	令和 6 年度西脇市一般会計補正予算（第 12 号）	原案可決
議案第 17 号	令和 6 年度西脇市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 18 号	令和 6 年度西脇市老人保健施設特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 19 号	令和 6 年度西脇市介護保険特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議案第 20 号	令和 6 年度西脇市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 21 号	令和 6 年度西脇市太陽光発電事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 22 号	令和 6 年度西脇市水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 23 号	令和 6 年度西脇市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 24 号	令和 6 年度西脇市病院事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決

区 分	件 名	結 果
議案第25号	令和7年度西脇市一般会計予算	原案可決
議案第26号	令和7年度西脇市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第27号	令和7年度西脇市立学校給食センター特別会計 予算	原案可決
議案第28号	令和7年度西脇市老人保健施設特別会計予算	原案可決
議案第29号	令和7年度西脇市公営墓地特別会計予算	原案可決
議案第30号	令和7年度西脇市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第31号	令和7年度西脇市茜が丘宅地供給事業特別会計 予算	原案可決
議案第32号	令和7年度西脇市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和7年度西脇市太陽光発電事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和7年度西脇市水道事業会計予算	原案可決
議案第35号	令和7年度西脇市下水道事業会計予算	原案可決
議案第36号	令和7年度西脇市病院事業会計予算	原案可決

西脇市議会議員の派遣について

西脇市議会会議規則第 143条の規定により別紙のとおり派遣する。

令和 7 年 3 月 26 日

西 脇 市 議 会

(別紙)

派遣内容

1 淡路市制20周年記念式典

- (1) 目的 式典出席
- (2) 場所 淡路市 しずかホール
- (3) 月日 令和7年4月6日
- (4) 議員名 吉井 敏恭議員(副議長)

2 東播・淡路議会議長会総会

- (1) 目的 定例会出席
- (2) 場所 加古川市 加古川プラザホテル
- (3) 月日 令和7年4月11日
- (4) 議員名 吉井 敏恭議員(副議長)

3 兵庫県市議会議長会総会

- (1) 目的 総会出席
- (2) 場所 豊岡市 ブルーリッジホテル
- (3) 月日 令和7年4月25日
- (4) 議員名 吉井 敏恭議員(副議長)

西脇市議会
議長 高 瀬 洋 様

文教民生常任委員長 浅 田 康 子

閉 会 中 継 続 審 査 申 出 書

本委員会は、下記の事件について閉会中もなお継続調査を要するものと決定しましたので、会議規則第 103条の規定により申し出ます。

記

1 事 件

- (1) 市民生活行政について
- (2) 保険、医療行政について
- (3) 社会福祉行政について
- (4) 病院事業について
- (5) 学校教育及び社会教育について
- (6) その他
 - ア 所管事務調査（令和 7 年 6 月まで）
消防団の在り方について
 - イ 令和 6 年度事務事業評価対象候補事業
「はればれ」教室事業

（理 由）

以上の事項については、引き続き調査したいので閉会中の継続審査として、本委員会に付託されたい。

西脇市議会
議長 高 瀬 洋 様

総務産業常任委員長 村 井 正 信

閉 会 中 継 続 審 査 申 出 書

本委員会は、下記の事件について閉会中もなお継続調査を要するものと決定しましたので、会議規則第 103条の規定により申し出ます。

記

1 事 件

- (1) 広報広聴及び人事管理について
- (2) 事務管理及び企画について
- (3) 財政及び管財について
- (4) 市税の賦課、徴収について
- (5) 都市計画及び建設事業について
- (6) 商工業の振興について
- (7) 農政及び農林土木事業について
- (8) 上下水道事業について
- (9) その他
 - ア 令和 6 年度事務事業評価対象候補事業
 - (ア) 産地人材育成支援事業
 - (イ) 空き家等対策推進事業

(理 由)

以上の事項については、引き続き調査したいので閉会中の継続審査として、本委員会に付託されたい。

西脇市議会
議長 高 瀬 洋 様

議会運営委員長 村 岡 栄 紀

閉 会 中 継 続 審 査 申 出 書

本委員会は、下記の事件について閉会中もなお継続調査を要するものと決定しましたので、会議規則第 103条の規定により申し出ます。

記

1 事 件

- (1) 議会運営に関する事項について
- (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項について
- (3) 議長の諮問に関する事項について

(理 由)

以上の事項については、引き続き調査したいので閉会中の継続審査として、本委員会に付託されたい。

第107回一般質問一覧表

7.3.26

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
1	村岡栄紀	全国トップクラスの学力を実現しよう	(1)全国学力・学習状況調査について ○これまでの平均正答率の検証 ○探究への積極的取組は成績向上につながるのか。 ○学力を向上させるためには。	教育長 部長
			(2)テストで点を取らせる授業について ○探究学習の方が楽しい。 ○通信制の教育環境の台頭 ○先生を中心としたテスト重視から、児童生徒を中心とした探究重視に。	
			(3)生成A I を活用した探究学習の推進について ○生成A I は児童・生徒にとって有効なツール ○今後、日常的に使っていくことを前提に、生成A I に今から親しんでおいた方が良い。	
			(4)教員の現状について ○教員志願者の減少や不足 ○教員をサポートする生成A I	
			(5)生成A I を活用した学校教育の推進と教員の環境整備について ○すぐに始めて、やりながら調整していくことが重要	
2	東野敏弘	新市発足20周年に際し、合併の評価を問う	(1)新市発足20周年に際し、合併の評価を問う。 ○旧西脇市と旧黒田庄町が合併して、本年20年を迎えた。本年10月4日には、新市発足20周年記念式典が予定されている。新市発足20周年に際し、市長の合併に対する評価を問う。	市長 部長
			(2)合併特例債活用事業についての評価を問う。 ○旧西脇市と旧黒田庄町の合併に際し、合併特例債97億6,000万円、合併振興基金分12億9,390万円が発行され、様々な事業に活用した。合併特例債活用に対する評価を問う。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(3)今後の黒田庄町の活性化について、市長の考えを問う。 ○合併後、旧役場、保育園、幼稚園がなくなり、今回、黒田庄中学校が廃校されようとしている。黒田庄地域北部や西部に避難所がなくなることになる。避難所を含め、黒田庄住民の安全で安心な地域づくり、地域の活性化について、今後の黒田庄町を市長はどのように考えているのかを問う。	市長
		西脇市が目指す教育について	(1)教育委員会が目指す小中一貫教育について ○教育委員会は、小中一貫教育を目指しているが、具体的にどのような小中一貫教育を目指しているのか。	教育長
	(2)教育委員会が目指している「コミュニティスクール」について ○教育委員会は「コミュニティスクール」の取組を進めている。今回の中学校の統合問題での混乱は、地域の信頼を失い、「コミュニティスクール」の取組と逆行しているのではないか。			
3	藤原哲也	適正化推進計画に基づく西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に対し、納得と共感を	現在、黒田庄校区内では、統合に対する賛成と反対の意見があるが、納得と共感をさせていただき説明責任が教育長にはあると感じるが。 ○教育の基本施策のステークホルダーに対して共感を得るべき。	教育長
		帯状疱疹ワクチン接種助成について	(1)令和6年度に帯状疱疹ワクチンを接種された本市の延べ人数と接種率は。 ○補助を受けて接種された人数	市長
	(2)令和6年度の接種率の結果を分析すれば、加西市のように県補助にプラスして、不活性と生ワクチンに対し、半額まで引上げ助成をしていたとしても、予算は充足していたのではないか。 ○今後の予算政策形成についての考えを聞く。			

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(3)小野市では、ワクチン助成として国の対象年齢65歳以上の狭間の方に来年度から半額助成をされるようであるが、本市は実施する予定はないのか。 ○小野市は高齢者施策が進んでいるが、本市には実施予定はないのか。</p> <p>(4)带状疱疹予防ワクチン接種の公費助成における、国の定期接種化を受けての本市の今後の取組は。 ○带状疱疹予防ワクチン接種に対する取組を聞く。</p>	市長
4	森脇久夫	中学校統合について	<p>(1)アンケート結果の活用 ○アンケート結果で西脇東中学校と黒田庄中学校に共通して高い課題認識ではない内容での判断は、公平感を欠くと思うが、見解を聞く。</p> <p>(2)統合懇談会での検討結果の活用 ○比延地区、黒田庄地区の共通の課題認識に基づいた対応が必要と考えるが、見解を聞く。</p> <p>(3)西脇東中学校と黒田庄中学校の統合問題への対応 ○市長として、この問題についての今後の対応を聞く。</p> <p>(4)今後の進め方について ○市民の協力があることが、この統合を進める必須のことと思われるが、今後の進め方についての考えを聞く。</p>	教育長
5	寺北建樹	市道法面の草刈りについて	<p>(1)地区区長会との話し合いの結果について ○今後の在り方について「地区区長会と話し合う」との答弁であったと思うが、その結果を聞きたい。</p> <p>(2)コンパクトシティにおける各種誘導区域に対する周辺部のまちづくりの施策として ○周辺部においても持続可能性を追求すべきである。</p>	市長
		上水道におけるPFAS問題	<p>(1)上戸田浄水場からの給水地域住民の血液検査について ○過去の数値に対する住民の不安を解消するための血液検査を実施すべきである。</p>	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(2)第6水源地の汚染原因の調査について ○大事な水源なので復活のために努力すべきである。	市長
		ペット同行避難所について	日野体育センターまでの避難方法は。 ○高齢者が多いと思うが、単独で避難できるのか。	
		黒田庄中学校と西脇東中学校の統合問題について	まだまだ黒田庄地区において理解・納得が得られていない。 ○一方的な開校準備委員会の開催は許してはいけない。	教育長
6	村井正信	日本のへそモニュメント頂上の整備を	(1)へそ公園には東経135度、北緯35度の交わる地点に「経緯度交差点標柱」いわゆる「日本のへそモニュメント」がそびえている。階段の途中から見る風景はとてもすばらしいが、頂上からの風景は雑木や生い茂った雑草しか見えない。1995年（平成7年）「日本のへそモニュメント」建立以後整備されなかったのか。 (2)日本のへそモニュメント頂上を使ったイベント「日本の中心で愛をさけぶ」を行えばと考えている。それによりこの場所がもっと広く知れ渡ることになり、日常的に利用される。そのためには、頂上付近の整備が必要である。頂上の東側と西側の雑木と雑草を処分し、見晴らしを良くするべき。	部長
		訪問介護支援の基本報酬引下げへの対応策を求める	2024年（令和6年）4月から介護保険の訪問介護支援の基本報酬が2～3%引き下げられ、地方にある事業所ではほとんどが減収に追い込まれているとのこと。このままでは、訪問介護事業者の倒産が現実化するのではないかと危惧する。訪問介護事業者の倒産件数は、2023年で過去最多を記録し、2024年度以降も過去最多を更新されている。 (1)令和6年度からの基本報酬の引下げについて、市長はどのように感じたか。市長としての見解を問う。	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(2)市として、訪問介護基本報酬が引き下げられた結果、訪問介護事業所の収益に与える影響を調査しているか。	市長
			(3)苦境に立たされている訪問介護事業所への支援として、令和5年度と令和6年度との差額支給や、訪問介護事業所燃料費支援金の支援を実施し、訪問介護利用者が継続して介護を受けることができるよう、市長の決断を求める。	
		介護職員への処遇改善のための補助金等の制度を検討すべき	(1)「高齢者安心プラン」に「訪問介護の計画値」が掲載されている。計画値の数字は令和8年度で6,350回になっている。実績を計画値に近づけるには、訪問介護事業所のスタッフ数は何人程度必要と考えるか。	
			(2)昨年12月の人材確保の質問に対し、福祉部長は介護分野、資格取得事業、資格取得支援事業や、県共催の介護に関する入門的研修を実施、若手職員の人材確保と定着促進対策として、社会福祉法人等に対し、奨学金返済支援手当を補助する社会福祉法人等就業者確保支援事業を実施していると答弁されている。この事業は従来から実施されていると考えるが、この事業で介護人材の確保は進んでいるか。	
			(3)市長は、人材確保について「訪問介護員をはじめとする介護人材の不足というのは、喫緊の課題というふうに認識はしております」と述べ、福祉部長の答弁をなぞらえた。しかし、それでは喫緊の課題を「直ちに解決するための事業」としては効果が薄いと考える。直ちに人材を確保する施策を求めるが、市長はどのように考えているか。	
			(4)介護職の月収の平均は全産業より約6万円安く、その上、今の介護報酬では職員確保や定着のための十分な対応が困難で、一事業所だけでは職員確保に厳しい現状がある。事業所が積極的な職員の確保と定着を図れるよう、市独自で介護職員への処遇改善のための補助金等の制度を検討すべきと考えるが、市長の考えを聞く。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
7	坂部武美	障害者スポーツの推進について	(1)障害者スポーツの必要性について、どのように認識しているのか。	市長
			(2)様々な障害者スポーツがあるが、現在、どのように取り組んでいるのか。	
			(3)障害者スポーツを推進するために、どのような体制で取り組んでいるのか。	
			(4)障害者スポーツを今後どのように取り組んでいくのか。	
		西脇公園の整備について	(1)西脇公園の現状をどのように認識しているのか。	
			(2)今後どのように整備していくのか。	
(3)西脇公園野球場の安全対策等の整備について、どのように考えているのか。				
8	岸本年裕	地域住民主体の自主防災組織の強化について	(1)地元消防団の人員減少に関する現状 ○現在、地元消防団の人員減少に伴い、地域住民が主体となった自主防災組織の役割が今後更に重要となる。	部長
			(2)自主防災組織の重要性 ○地元消防団の人員減少に伴い、地域住民が主体となった自主防災組織の役割が今後更に重要となるが、現在、地域住民の防災活動への参加状況をどのように評価しているか。 ○市として自主防災組織の強化に向けた具体的な取組や支援策をどのように考えているのか。	
			(3)自主防災組織の育成と地域の協力体制 ○自主防災組織の育成に向けて、地域での防災訓練をどのように実施しているか。 ○今後、地域住民の防災意識を高め、積極的に参加してもらうために、どのような施策が有効と考えているか。	
			(4)自主防災の情報共有と連携 ○地域住民間の情報共有や連携強化に向けて、市はどのような仕組みを設けているのか。 ○災害発生時における情報伝達手段や協力体制をより強化するために、今後、取り組むべき具体的な施策はあるのか。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(5)市民の意識向上のための支援 ○市民一人ひとりが防災意識を高めるための啓発活動や支援の充実について、今後どのように進めていく予定か。	市長
9	浅田康子	誰もがイキイキと暮らせるまちに	(1)認知症高齢者や障害のある人に支援する成年後見制度について ○制度の対象者の状況は。 (2)成年後見支援センターの設置から1年が経過した現状等について ①成年後見支援センターの設置に係る経緯について ②成年後見支援センターの相談件数と相談内容は ③支援につながった実例は ④今後の課題は (3)関係機関との連携について ①関係機関との連携が重要であると考える。サポート体制について ②市民後見人の養成の考えは (4)成年後見制度を促進するための考えを問う。 (5)手話言語条例について ①聴覚に障害のある人数の推移 ②手話言語条例が制定されて8年目になる。成果は。 ③手話言語条例を推進するための課題は。	部長
			(6)手話言語条例を今後どのように推進するのか。	市長
			(7)生きづらさを感じている子どもについて ①生きづらさを感じている子どもの人数は把握できているのか。 ②生きづらさを感じている子どもたちの居場所についての考えは。	部長
			(8)誰もがイキイキと暮らせるまちの実現に向けた市長の考えは。	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
10	高瀬弘行	有機フッ素化合物（P F A S）の検査値等に関する事実経過と健康調査の実施について	(1) P F A S の検査値等に関する事実経過の確認など ①令和6年12月議会の村井議員の一般質問において「（P F A S に関連して）医師会の懇談会と病院の会議において血液検査の必要がないと言われた」との答弁であったが、具体的な日程とその内容は。	市長
			②配布された「水道水の安全性について（お知らせ）」において、令和6年12月6日付では「西脇市建設水道部」、令和7年3月1日付では「市長」の責任で出されているが、その違いは。	
			③令和7年2月21日の神戸新聞・北播記事に「P F A S 検出値、低く報告。西脇市、原因は誤入力」とあるが、具体的な内容と今後の対策は。	市長 部長
			④令和6年11月19日の第6水源地の原水140ng/lの検査結果が加東保健福祉事務所食品業務衛生課に報告がされていないのはなぜか。	
			⑤令和6年11月19日開催の上下水道事業審議会において、P F A S 関連の報告がされていないのはなぜか。	
			⑥P F A S の検査料（委託料）について	
			(2)健康への影響等に関する情報発信等について ①リスクコミュニケーションの実施について ○環境省のリーフレットの活用について ○水道水の暫定目標値の根拠の明示について ○今後のP F A S の測定頻度について	
			②特定健康診査等の検査結果を用いた健康状態の把握について（結果としてP F A S の影響の有無を推測できると考える）	
			③西脇市として今後のP F A S 低減に向けた取組姿勢について	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
11	藤原秀樹	西脇チェックについて	(1)西脇チェックの製品化について ○ネクタイやスカーフの播州織製品を製作しないのか。	部長
			(2)西脇チェックの今後の展開 ○製品化したものなどを活用して、令和7年度はどのようにPR、普及していくのか。 ○また、西脇チェックを身に着けてPRしないのか。	
			(3)中学校のネクタイ・リボンの試作品について ○中学生の制服向けにワンタッチで取り外しのできるネクタイとリボンの試作をしてはどうか。	
			(4)「西脇チェック」への思い ○PRや今後の展開についての市長の思いを聞く。	市長
12	杉本佳隆	ふるさと納税の寄附金で地域活性化に向けて	(1)本市のふるさと納税にはどのような特徴があるのか。どのような強みがあるのか。今後の計画について	部長
			(2)体験型返礼品の導入として、農業体験、播州織体験、地元グルメツアーなど本市へ訪れてもらえる仕組みについて	
			(3)定期便サービスについて、一度の寄附で継続的に物産品が届く仕組みで、長期的な寄附を確保する。	
			(4)PR、広報戦略について、インフルエンサーやYoutuberと連携した取組	
			(5)使い道の見える化で、寄附金の使い道を可視化し、寄附者への透明性を図る。	
			(6)リピーターの獲得手法について	
			(7)寄附者が市長や生産者、事業者と直接交流できる場を持ち、寄附者と自治体のつながりを深め、長期的な関係を構築する。	
			(8)ふるさと納税のポイント付与の禁止を受けて、既存のポータルサイトではなく、市独自の特設サイトの構築	
			(9)ふるさと納税を更に活用するための課題と今後の方針について	市長

公民館距離 単位:km

	各地区からの 自転車ルート	
	黒中距離	東中距離
比延町	7.1	0.6
上比延町	6.4	1.3
鹿野町	7.5	0.2
塚口町	8.9	1.7
高嶋町	9.3	1.6
堀町	9.8	2.1
中畑町	10.2	4.8
住吉町	14.9	9.4
喜多	3.0	4.8
大門	3.6	4.5
津万井	4.0	4.3
福地	4.7	2.6
岡	3.3	4.2
門柳 ※	6.6	7.4
大伏	3.3	6.4
西澤	1.4	7.8
石原	2.1	8.4
田高	1.8	9.0
船町	2.7	9.5
小苗	2.6	10.0
黒田	0.3	7.9
前坂	1.5	6.4

各地区の基準は公民館

自転車通学距離(加重平均) 単位:km

年度	(参考) 人口重心からの距離		全生徒 自転車ルート距離		6km以下生徒 自転車ルート距離	
	東中	黒中	東中	黒中	東中	黒中
	R8	3.09	3.48	4.31	5.00	2.67
R9	3.4	3.2	4.52	4.58	2.63	2.70
R10	3.6	3.0	4.84	4.54	2.80	2.57
R11	3.8	2.7	5.00	4.11	2.76	2.46
R12	3.9	27.0	5.08	4.24	2.89	2.58
R13	3.8	2.8	5.00	4.25	2.88	2.59
R14	4.0	2.6	5.22	4.07	3.10	2.51
R15	3.9	2.7	5.10	4.18	2.93	2.44
R16	3.7	2.8	4.94	4.27	2.79	2.41

※

※黒中とした場合、門柳は自転車

通学手段とその生徒数 単位:人数

年度	全生徒数	東中選択		黒中選択	
		自転車	バス等	自転車	バス等
R8	224	156	68	137	87
R9	203	131	72	131	72
R10	200	121	79	132	68
R11	177	100	77	124	53
R12	180	103	77	127	53
R13	148	87	61	104	44
R14	138	78	60	102	36
R15	122	69	53	87	35
R16	111	64	47	76	35

※

森脇久夫 作成

資料①

居宅介護サービスの現状と見込量

「第8期・9期西脇市高齢者安心プラン」、「常任委員会資料」より

サービスの種類		単位	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
訪問介護	計画値	利用者数(人/月)	285	286	291	296	314	325	333
		利用回数(回/月)	4,296	4,396	4,404	4,428	5,904	6,123	6,350
	実績値	利用者数(人/月)	274	272	277	296	☆ 295		
		利用回数(回/月)	3,400	3,335	3,975	4,687	☆ 4,346		

訪問看護	計画値	利用者数(人/月)	266	243	249	258	241	247	253
		利用回数(回/月)	2,195	1,436	1,479	1,535	1,827	1,875	1,923
	実績値	利用者数(人/月)	225	227	238	230	☆ 227		
		利用回数(回/月)	1,392	1,428	1,583	1,605	☆ 1,421		

| ← コ ロ ナ 期 間 → | ☆印 10ヶ月分平均

要支援・要介護認定者数(1号)	2,654	2,649	2,688	2,720	2,761			
-----------------	-------	-------	-------	-------	-------	--	--	--

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
高齢者ひとり暮らし世帯数	3,121	3,222	3,373	3,423	3,480			

介護予防生活支援サービス事業利用状況

訪問型サービス		平30年2月	平31年2月	令2年2月末	令3年2月末	令4年2月末	令5年2月末	令6年2月末
介護予防訪問介護	件数	72	94	91	81	89	78	71
訪問家事支援(有資格)	件数	14	14	12	14	14	11	10
訪問家事支援(一定研修)	件数	8	11	13	9	7	4	3
支え合いサービス	件数	10	12	14	16	12	16	13

作成 村井正信

訪問介護の基本報酬引き下げについてのアンケート調査結果 資料②

日本医療労働組合連合会 2024年5月2日調査開始～2025年1月10日

2023年4月と2024年4月のサービス提供単位数を比較して、国保連へ請求した単位数は？

① 事業所職員数	回答数	増えた	減った
～5人	34	15%	74%
～10人	73	22%	74%
～25人	90	19%	72%
～50人	28	11%	89%
～100人	8	63%	13%
100人以上	2	0%	50%

基本報酬の引き下げで、現在、事業所と介護職員にどのような影響が出ていますか？

(複数回答可)

② 事業所職員数	回答数	経営悪化	新規採用困難	人員削減	賃金水準の引き下げ	一時金減額
～5人	34	62%	35%	6%	12%	21%
～10人	73	70%	36%	5%	4%	27%
～25人	90	69%	37%	12%	4%	32%
～50人	28	79%	61%	14%	21%	43%
～100人	8	50%	25%	0%	13%	50%
100人以上	2	0%	0%	0%	0%	0%

基本報酬の引き下げで、今後、事業所と介護職員にどのような影響が出ると考えられますか？

(複数回答可)

③ 事業所職員数	回答数	経営悪化	新規採用困難	人員削減	賃金水準の引き下げ	一時金減額	サービスの質の低下
～5人	34	76%	35%	24%	26%	29%	21%
～10人	73	77%	44%	19%	11%	36%	29%
～25人	90	81%	44%	31%	22%	42%	30%
～50人	28	82%	71%	21%	32%	43%	21%
～100人	8	63%	38%	25%	25%	38%	38%
100人以上	2	50%	0%	0%	0%	50%	0%

作成 村井正信